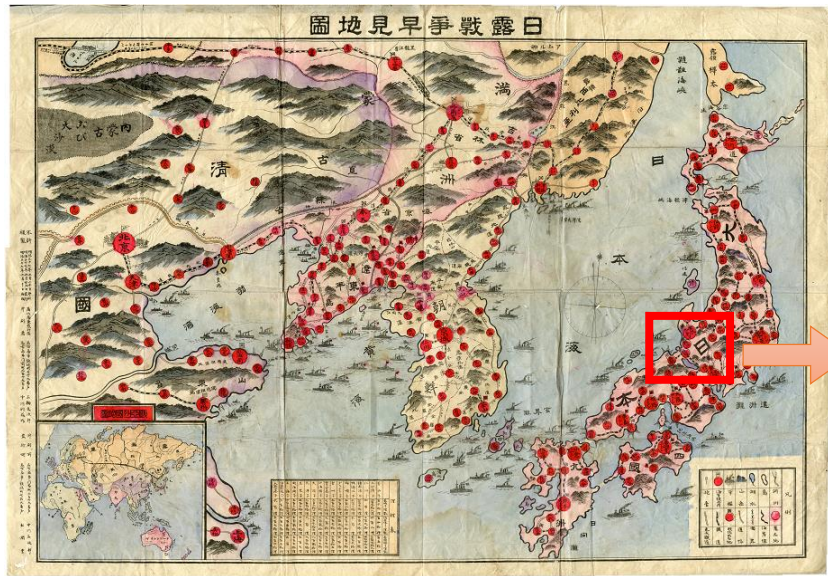
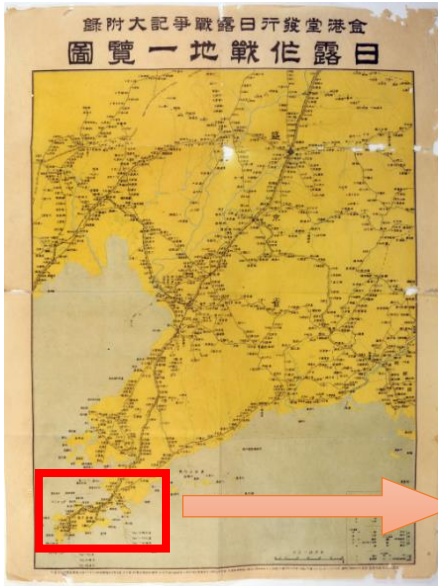


日露戦争早見地図、日露作戦地一覧図



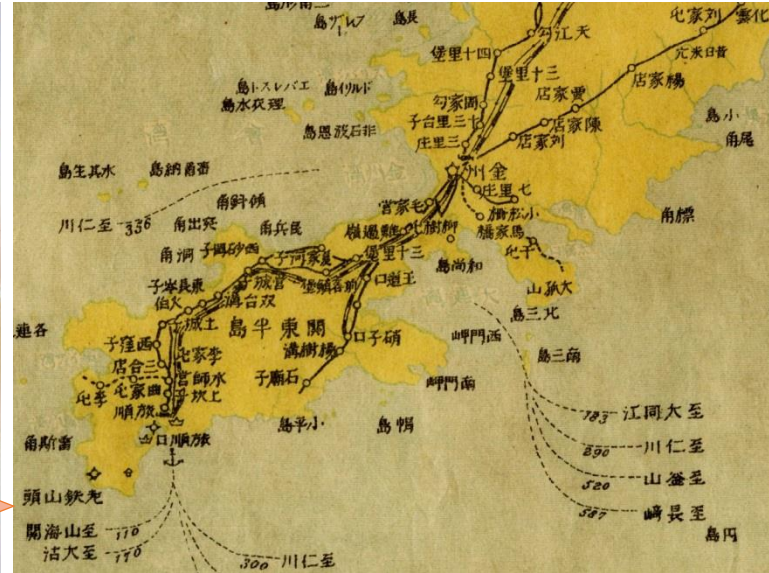
1904年（明治37）「日露戦争早見地図」

橋本伝右衛門家文書（当館蔵）[デジタルアーカイブへ](#)



1904年（明治37）「日露作戦地一覧図」

吉野屋文書（当館蔵）[デジタルアーカイブへ](#)



解説

列強は、日清戦争の戦費と巨額の賠償支払いにあえぐ清国に借款を供与し、その見返りに港湾租借・鉄道敷設・鉱山開発などの利権を次々に獲得して、分割支配を進めました。これに対する義和団の反抗は日露を主力とする列強連合軍が鎮圧しました。列強間の利害の対立は激しく、とくに遼東半島をめぐる日露の対立は深刻でした。

「主権線」の維持から「利益線」を朝鮮から遼東へと「開張」しようとする日本の大陸政策は、三国干渉によって挫折しました。その直後、ロシアは清国に借款をあたえ、1896年（明治29）シベリア鉄道チタから北満州を横断してウラジオストクに達する東清鉄道の敷設権を取得しています。さらに98年（明治31）旅順・大連の租借権を獲得し、東清鉄道ハルビンから南下して旅順にいたる南満州支線の敷設権を得て、満州一帯に勢力を伸ばしています。「利益線」朝鮮と「主権線」対馬海峡は、旅順・ウラジオストクの両軍港に挟撃されて、きわめて不安定となりました。一方、シベリア鉄道計画以来のロシアの南下政策の成否は、南満州鉄道が鴨緑江と並走しているがゆえに、朝鮮国境に日本軍が配置されれば、重大な脅威にさらされることになります。

日露両国は、双方にこのような事情を抱えた上で、日本は1902年（明治35）締結の日英同盟を軸にアメリカの支持も期待し、ロシアはフランスとの同盟にドイツの後援を得て、04年（明治37）に開戦に至るのです。

福井との関わり

福井県下の日露戦争出征兵士は、若狭においては1904年（明治37）4月16日、第一〇師団の動員令をうけて福知山歩兵第二〇連隊として出征し、遼東半島に上陸、7月に第四軍に編入されて遼陽・沙河・奉天の戦闘に参加しています。一方、越前の出征兵は5月9日に第九師団の動員下令、鯖江歩兵第三六連隊として第三軍に所属して遼東半島に上陸、旅順要塞攻囲戦を戦い、続いて奉天会戦に参加しました。これら日露戦争の中で最も激しい戦闘に参加したことで、戦争における福井県兵士の戦没者比率の大きさは全国第4位に位置しています。福井県出身の兵士の大半が所属した鯖江歩兵第三六連隊は旅順要塞攻撃戦で甚大な損傷を受け、奉天会戦後にほとんど壊滅、健在者がわずか251人とほぼ一個中隊の定員にすぎない惨憺たる状態に陥っています。

資料の注目ポイント!!

資料はともに1904年発行の地図です。資料（上）は日露戦争当時の東アジアの主要都市および、日本の師団や連隊の所在地が描かれている地図です。各都市を結ぶ鉄道路線図なども見られます。資料（下）は主戦場となった遼東半島および、奉天などの中国東北方を詳細に描いています。

関連資料

名称	概要	備考
「日露戦争早見地図」	橋本伝右衛門家文書（当館蔵） A0163-00099	当館デジタルアーカイブで閲覧可能。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-324293-1-p1
「日露作戦地一覧図」	吉野屋文書（当館蔵） B0030-01178	当館デジタルアーカイブで閲覧可能。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-339072-1-p1
「日露戦争早見地図」複製シート	シート番号 SH00024	貸出可能。詳しくはこちら https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/category/gakkoushiryou/493.html
「日露作戦地一覧図」複製シート	シート番号 SH00028	
鯖江歩兵第36連隊 駐屯地（写真）	福井市立郷土歴史博物館蔵。 1909年（明治42）『行啓記念写真帖』	『図説福井県史』 近代 8 日清・日露戦争と県民 掲載 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/07/zusetsu/zusetsuframe.html
歩兵第36連隊の日露戦争死傷者数		『福井県史』 通史編5 近現代一 第二章 第一節に収録 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/07/kenshi/tuushiindex.html
隊の健在者		

参考文献

- ・『国史大辞典』 吉川弘文館
- ・『福井県史』 通史編5 近現代一 第二章 日清・日露戦争と県民 第一節 日清・日露戦争と「戦後経営」 三 日露戦争
- ・『図説福井県史』 近代 8 日清・日露戦争と県民
- ・『日本史（A B 共通） 教授資料 研究編』 山川出版社